

150周年記念 第1回文化講演会

東京大学卓越教授 宇宙物理学専門

梶田 隆章 先生

ノーベル物理学賞受賞(2015年)・仁科記念財団理事長

「科学の楽しさと大切さ
～私の経験から～」

日時＝令和8年5月28日(木) 13:30開場 14:00開演

場所＝岡山芸術創造劇場ハレノワ 大劇場

入場料＝現役生徒・教職員 無料 / 同窓生・一般 1,000円

チケット販売方法等は決まり次第ホームページでご案内します。

母校所蔵作品集

特別展等への出品、作品修復(同窓会の母校支援で進展)の記録、創立140周年以降に寄贈された作品の収録に重点をおいて編集しました。A4判・98頁。



同窓会この一年

(令和6年9月～令和7年8月)

ホームページ
asahikou.com



同窓会の悩みと願い — 同窓会の未来のために —

同窓会は、各学年同期会の集合体とも言えるべき組織で、会報の発行・配布やホームページの維持管理などの他、全会員の名簿管理など多岐に亘る活動を行っています。

こうした活動は、各学年同期会から理事・常任理事として選出された役員によって支えられていますが、ここ20年で「60歳未満の、活動の中心となるべき常任理事」の割合が激減しています。

(常任理事の60才未満の割合は、
20年前60%、現在34%)

この傾向は、本会のみならず京浜同窓会や他校の同窓会においても共通の課題であり、簡単には解消しがたい悩みの種となっています。

この背景には、社会全体の価値観やライフスタイルの変化があり、従来型の同窓会活動と現役世代との間に、意識や感覚のずれが生じていることも一因と考えられ、単に一過性の問題ではないようです。

今後は、同窓会活動の中心となる学年が、高齢化するのを念頭に置いて考える覚悟が必要ですが、それでも、可能な限り、各学年からご協力いただき、年齢層に偏りのない組織を構築して段階的な引継ぎが可能な体制づくりを進めていきたいと考えています。

本会の運営方針は、政治・宗教・商業活動とは一線を画した中立・非営利の立場を堅持しています。その前提のもとで、各学年同期会の皆さまには、ボランティア精神と母校愛に富む方をご推薦いただきますようお願いいたします。

母校創立150周年記念 同窓会総会・懇親会

日時 令和6年11月16日(土)

場所 岡山国際ホテル

参加者 303名



母校創立150周年、「岡山朝日」命名75周年という節目ということもあり、久々に参加者が300名を超えました。

150周年を記念して、鈴鹿校長より入江理事長に感謝状が贈呈されました。

懇親会ではトークショーが行われ、山本晃弘さん(S57卒、雑誌編集長)、中江功さん(S57卒、テレビ局PD)、三宅エリナさん(H22卒、俳優)、岡本想大さん(H28卒、野球部OB)の4人が登壇しました。

最後は、応援団OBの迫力あるエールと力強い指揮の下、全員で校歌を斉唱しました。

二十歳の集い前夜祭 (令和5年卒同期会)

日時 令和7年1月11日(土)

場所 朝日高校・岡山プラザホテル

参加者 249名(内恩師10名)



コロナで制限を受け続けた高校の3年間。マスクを外し、少し大人になった友の姿は昔とは少し違って見えました。

最初に3年次の各教室で特別LHRを行い、クラスメイトや恩師の先生と話に花を咲かせました。体育館では、有志によるバンド演奏があり、在学中は叶わなかった声出し応援が解禁され、会場が熱気に包まれました。なかでも特別イベントの「先生の若かりし頃の写真」、「先生の学年集会コント」は、秘密裏に進めてきたサプライズ企画で、大いに盛り上がりしました。

懇親会も盛会でした。修学旅行は黙食、朝日祭の模擬店も中止だった私たちにとって、今回が初めて友と和気あいあいと食事をする機会になり、笑顔と喜びの声で溢れていました。(市本理人)